

【神奈川県立神奈川工業高等学校】1・2・3年による「学び合い」の班活動

ー「学び合い」の班活動の要素ー

- ・各学年1名ずつの3名による班編成(40班)を行い、各自1テーマ出品する
- ・**チューター制度**により生徒同士が相談しやすい環境を作るとともにつながりを創出する
- ・全員が発表練習を2回は必ず行い、**お互いに修正しあう**
- ・**全員一から作品を制作する**ので、下級生は上級生の技術レベルを見て自分との違いを実感する
- ・全員が自分の作品を発表し、事後には**発表についての振り返り**を行う
- ・**学年の壁を越えてコミュニケーション**を取ることで関係性の強化と次年度の自分の立ち回りを理解する

ー夏休みのポスターコンクールを全学年協働で参加しようー

①課題提示からはじまった「学び合い」の活動



班による練習

夏休み期間に各自が制作した作品へのアドバイスやよりよく発表するための練習を行う

②夏季休業中課題発表会

生徒全員が自分の作品をプレゼンテーション



<1年生>



<2年生>



<3年生>



班ごとにお互いの発表についてアドバイス

発表についての意見交換のみならず、日頃の学習の方法や、今のうちに準備しておいた方がよいことなど、学校生活を豊かに送るための質問やアドバイスも聞こえてきた



学び合いの実践



つながりを生かし課題研究発表会も協働で

～指導を通じて得られた教育的効果や教師の実感～

- ・**学年を縦につなぐ**ことにより、進路や課題の情報を共有する機会を与えることができた。教員からの話よりも、**自分に近い存在の実体験を聞くことで、自分たちの将来を考える良いきっかけ**となったと思う。
- ・生徒同士の学び合いを通じて、文化祭などのイベントだけでなく、普段の学校生活でも先輩後輩とコミュニケーションをとる機会が増え、**クラス以外のコミュニティ、居場所を作る**ことにつながった。
- ・普段はあまり積極的ではない上級生もこの活動を通して、**後輩の面倒をみる先輩へと変容**した。
- ・学年を超えた学び合いでは、各学年に応じた役割や課題があり、生徒にはそれを自ら認識し、主体的に行動する力が求められます。3学年による学び合いを継続していく中で、話し合いの質は年々向上し、**生徒が「今やるべきこと」に気づくまでの時間も短くなっています。**

～活動を通した生徒の気づき～

- ・LINEグループでのやり取りで、発表の待ち時間について質問をしたら、文字数や言うべきこと、発表の態度など、たくさんのことを丁寧に教えてくれてとても助かった。初めての発表会でいろいろなことが心配だったが先輩の助言はとても有益でありがたかった。【1年生】
- ・自信のなさから質問することができなかった、アドバイスを自分から求めることができなかった。そんなところがあったので次年度からはもう少し自分から質問をできるように、より良い発表ができるように頑張っていきたいと思いました。また次年度で後輩が困っていたりしたら優しく声をかけてあげたいと思いました。【2年生】
- ・1年生に、準備しておいた方がいいことや、発表前にあらかじめ発表時の雰囲気などを伝えて緊張を少しでも身構えられるようにしてあげるなど、私が言われたら安心する言葉を選んで伝えられたと思います。3年生の先輩にも伝わりやすいまとめ方なども教えてもらったので次回の夏課題の発表などでも活かしていきたいです。【3年生】
- ・たてわりで関われる貴重な機会なので今後も続けていくべきだと思いました。他学年との交流をすることでお互いの成長に繋がり、娘を見てる気分で楽しかったです。【3年生】